

NOLTA Society 関係の皆様へ：

論文誌 NOLTA, IEICE 編集委員会からのメッセージ

ご存じの様に論文誌 NOLTA, IEICE

<http://www.nolta.ieice.org>

は既に Vol.8, No.4 の発刊に至りました。この間、沢山の皆様のご投稿ありがとうございます。本論文誌の編集は、NOLTA 関係者が丁寧な内容の論文を投稿する貴重な論文誌として維持することの重要性を重んじています。学会運営のために IMPACT FACTOR (IF) を狙うものではなく、また学会の Transaction 形式のオムニバス論文でも無く、非線形理論とその応用に関わるテーマに対して、特集ごとにフォーカスを当て俯瞰した内容と詳細な議論をまとめた論文誌として編集しています。その編集委員会の構成は

<http://www.nolta.ieice.org/data/editorial.html>

にございます。国際的な編集を指向しております。是非、論文誌、論文に目を通して頂ければ幸いです。

さて、NOLTA, IEICE からの御連絡とお願いです。

<Web of Science (WoS) の検索に関して>

まず、最初に論文誌の評価に関わる状況です。本論文誌は電子情報通信学会の NOLTA ソサイエティの基幹オンラインジャーナルで、全論文がオープンアクセスとなっています。長期の交渉の結果、昨年からは本論文誌はクラリベート・アナリシスが運営する Web of Science の Emerging Sources Citation Index (ESCI) ジャーナルとしてリストアップされ、検索では IEICE を雑誌名で入れて頂くと Web 上で IEICE Nonlinear Theory and Its Applications のリストがでて、選択頂くと掲載論文がアクセスできます。WoS の利用が可能な方々は検索を試みて下さい。

<NOLTA, IEICE 論文のオープンアクセスに関して>

本論文誌は定額 (¥65,000) で 30 ページまでの内容を掲載でき、さらにオープンアクセスとなっています。本論文誌に掲載された論文には当然ながら DOI が付されます。電子情報通信学会の論文誌に掲載される論文は、規程により発行後ただちに機関リポジトリに掲載が可能になりますが、本誌は掲載時点からオープンアクセスです。同時にリポジトリに掲載頂くことが可能です。利用規則、著作権等の扱いは

(Japanese) http://www.ieice.org/jpn/about/kitei/files/chosaku_hyou3.pdf#zoom=75

(English) <http://www.ieice.org/eng/copyright/files/copyright.pdf#zoom=75%>

を確認下さい。

一方、投稿済みの論文をプレプリントサーバの利用に関して公開することは、NOLTA 誌の編集委員会では否定していません。関係の preprint server では arXiv.org が有名です。

<https://arxiv.org>

非線形関係の論文は間違い無くこのサーバのカテゴリー Nonlinear Science で公開できます。また最近では信号

処理を扱うカテゴリーで Electrical Engineering and System Science (EESS) が追加されました。研究成果の Priority を preprint サーバで雑誌への論文投稿と同時に preprint server で確保して下さい。皆さんの成果を広く知らしめるには、Preprint, Journal, Repository を有機的に利用され、投稿論文ができる限り早く、広く、多くの方の目に触れることが重要です。そのような活動を編集委員会としても支援しています。arXiv.org は今後 APS, AIP, IEEE などとの連携が進められますので、その動きに合わせて、より簡便なプロセスで NOLTA 誌と arXiv.org がつながるようにしていきたいと思えます。

<論文引用に関して>

投稿頂いた論文を一方的にオープンにするだけでは十分ではありません。注目される内容の論文は懸賞されると共に、他の研究者の方々から引用されてこそ意味を持ちます。丁寧に書かれた皆様の論文について、皆様が他の分野、あるいはより IF が高い論文誌に投稿される際にも、是非引用に加えて頂き、NOLTA ソサイエティのグループの研究成果に、目が行くようにご支援頂ければ幸いです。もちろん、NOLTA 誌への投稿は大歓迎ですが、研究者として、より評価が高い雑誌への投稿ということは当然の行動と思えます。その際にも、NOLTA 誌の論文へ衆目が集まるようにご協力下さい。

<ORCID 導入に関して>

非線形分野の研究者の方が、他の論文誌に投稿される際に、昨今 ORCID と呼ばれる研究者識別子を要求されることが増えてきています。それに対して、NOLTA, IEICE も導入を決めました。採用は現在の特集号が動いているタイミングを見計らいますが、早急に個人 ORCID ID をご用意下さい。

ORCID 登録サイト

<https://orcid.org/register>

このサイトで登録します。もしも他の ID(ResearcherID, Scopus ID) も持っているならばさらにその orchid.org のインタフェースにおいてもそれらを登録できます。

逆に例えば RESEARCHERID を既にお持ちの方は

<http://www.researcherid.com/Home.action>

から登録が可能です。皆様の論文を論文誌に関係なく、この個人研究者 ID でまとめることができ、会議録も含めて一括にデータベースを構築することが可能となります。NOLTA 誌もその識別子によるデータベースへの登録を可能にします。期限を決めたタイミングから投稿時にお願いすることになりますので、ご理解を頂ければ幸いです。

以上、NOLTA 誌の編集委員長としてメッセージを送らせて頂きました。今後とも、ご協力を宜しくお願い致します。

MOLTA, IEICE 編集委員長

引原隆士, 京都大学